

2016
(12/21)
長月号
9/28
2,890
木下

右馬允だるま

金木犀の秋色の香りが辺り一面に
広がって快く良い日々を過ごしています。昨日と7日
だけは晴れ。又々には青い空と太陽様に会っ
た。あとは雨と雨で。お子たちに
とっては最高!! でしょう。二人の子と主人
は時同く之れは山に去り。時はけう
しい松茸を。時は雑草の子だけ。雨の
降っているか。どうでか。去るきの子集
に熱心です。松茸山持ちのおはなさん(生田
峠の)のとらで。去らぬ事。いよ
本番と。去る事。いよ感じ。テーブルに
出される松茸の量も増えて来ました。以前
はグループで松茸を楽しまれるお客様
が多かったのです。今とら。お夫婦で
静かに楽しんで喜んでいる風に変
わっています。金木犀雨・松茸 全て
と揃いました。食卓は華やかなとす

庭の栗が今年と元気に飛び出し
今はイグサの地面は雨続きで。その
後始末が。またびらす。見苦しい景色とな
ります。実生の山栗の木で。友子母はこの木が
大好きで。毎年熱心に拾っては煮て割って中
の栗をスプーンで取り出してくださいます。この陰に
今年と茶中絞りの。沢山と来りました。今
年の味つけは次男の充で。栗の状態はいいのでは
うか。おのずからと。いいます。召し上げにあま
け下さい。二階の奥の部屋の前の白木の
色づき始め。明るく。去る事。いよ。暑く
一生けん命。汗を。いよ。味覚は秋真盛
り。いよ。苗金色の田んぼ。刈り取られた
田んぼは。干されている稲束。おのずから田園風景
が広がっています。クニア問題。揺る。村内。いよ
今とら。また。静かです。クニア。結ばれた
又美と京像さん。必死の抵抗を展開して
います。それ。むかし。いよ。いよ
これ。白紙に。戻たら。お。い。奇跡。いよ
私。た。老いた者は。若い人達に。望み。いよ
静かに。見守。いよ。それ。心。いよ。いよ。